

科名 消化器科
 対象疾患名 胆道癌
 プロトコール名 イミフィンジ+GEM+CDDP

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	8	...	21
1	点滴注	メイン3-①	生食	500mL	イミフィンジ終了までルートキープ 残破棄可	↓				
2	点滴注	メイン3-①	生食	500mL	制吐剤終了までルートキープ 残破棄可			↓		
3	点滴注	側管①	パロノセトロンバッグ アロカリス デキサート	0.75mg 235mg 9.9mg	30分かけて	↓		↓		
4	点滴注	側管②	イミフィンジ 生食	1500mg 250mL	60分かけて 室温保存では調製後4時間以内に投与開始	↓				
5	点滴注	メイン3-②	フィジオ140	500mL	制吐剤終了後から 2.5時間かけて	↓		↓		
6	点滴注	側管③	シスプラチン 生食	25mg/m ² 500mL	120分かけて	↓		↓		
7	点滴注	側管④	ゲムシタビン 5%ブドウ糖	1000mg/m ² 100mL	必ず30分かけて	↓		↓		
8	点滴注	メイン3-③	フィジオ140	500mL	60分かけて	↓		↓		

★1クール=21日

～MEMO～

催吐レベル4(90%以上)

8コースまで

<イミフィンジ>

体重30kg以下の場合は1回投与量は20mg/kg(体重)とする。

<ゲムシタビン>

ゲムシタビンは必ず30分で投与(副作用増強防止のため)

禁忌:間質性肺炎、肺線維症のある患者、胸部への放射線療法との併用

血管痛の対処方法:

①静脈炎・血管痛を予防するために以下のことを考慮し、点滴の針を刺す。

- ・血流の良い太い血管をできるだけ使用する。
- ・毎回、できるだけ穿刺部位を変える。
- ・長く留置していた静脈、過去に静脈炎を起こした血管は避ける。

②点滴中は、以下のことを考慮し、投与する。

- ・点滴の入っている腕を予め加温し、血管を温めて広げ、血流を良くする。
- ・メインの生理食塩水の投与量を増やし、より希釈しながら投与する。